

平成 2 2 年 萩市議会 9 月定例会

一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	摘 要
1	2 2	諸 岡 皓 二	9月13日午前
2	9	中 野 伸	
3	2	関 伸 久	午後
4	1	佐々木 武 夫	
5	1 2	木 村 靖 枝	
6	8	長 岡 肇太郎	
7	1 3	斉 藤 眞 治	9月14日午前
8	6	岡 通 夫	
9	5	大 村 赳 夫	午後
1 0	1 0	広 兼 義 烈	
1 1	2 0	平 田 啓 一	
1 2	2 1	宮 内 欣 二	9月15日午前
1 3	4	棕 晶 雄	
1 4	3	西 中 忍	午後
1 5	2 4	横 山 秀 二	
1 6	1 9	西 元 勇	

質問順位	1	質問者	諸岡皓二議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1.萩市の経済再生について	1. 中小企業振興基本条例の制定について		

質問順位	2	質問者	中野伸議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 近年の豪雨災害について	1. 災害復旧について (1) 今年度(7月)の豪雨災害は (2) 前年度までの災害復旧工事の進捗状況は		
2. 高齢者の孤立化防止について	1. 地域福祉計画について 2. 高齢者など所在不明は		
3. 災害時要援護者の避難について	1. 高齢者らの避難支援全体計画について		
4. 奥阿武宰判勘場(代官所)の復元(所在地 - 萩市大字吉部上)	1. 江戸時代の幕藩体制下における萩藩の郷村支配行政組織の一つとして創設された施設である。 平成6年に旧むつみ村指定史跡、平成15年に山口県指定史跡となる。是非、復元を。		

質問順位	3	質問者	関 伸 久 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
1．萩市が運営管理する中央公園及び博物館前駐車場の駐車料金の設定について	<p>萩市が運営管理する市営駐車場、特に中央公園駐車場と博物館前駐車場は観光客の利用頻度が極めて高い駐車場である。最近では萩博物館への来場者の増加に伴い、駐車場ニーズもこれまでよりも一層高まっている。</p> <p>ところが、その駐車料金は1日300円と非常に低料金の設定であり、萩市の手数料収入に寄与しているとは言い難い。</p> <p>ついては観光オンシーズンは駐車料金を値上げし、市の財源確保を図るとともに観光オフシーズンには駐車料金を無料にすることで萩市に来訪する観光客の平準化を図りたい。</p> <p>またこれに併せて無人で運営管理する本格的なコインパーキング事業への参入も検討したい。尚、市民が無料で利用できる点についてはこれを維持したい。</p> <p>今回これを提言する理由は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．観光客来訪の平準化を図ることは雇用の安定にもつながる重要な施策である。 2．人口減少により市税が減少しており、市の財源確保（手数料収入の拡大）が喫緊の課題である。 3．自治体がコインパーキング事業に参入すれば、萩市に点在する空き地の一層の有効利用が見込める。 		
2．萩ウエルネスパークの有効利用について	<p>萩ウエルネスパークは山口県が総工費約79億円を投じた一大プロジェクトであり、現在その運営管理については萩市が指定管理を受けている。その利用状況は極めて低調であり、平成21年度の施設使用料収入はわずか2,071千円である。</p> <p>これに対し維持管理費等のランニングコストは山口県と萩市の負担となっている。しかし最近になって、山口県の財政悪化を理由にそのランニングコストを萩市が全額負担する様、山口県から要請されていると聞く。現時点では確定した話ではないものの、仮に実現すれば萩市の財政負担が極めて大きくなることから、自助努力により更なる利用促進を図りたい。尚、利用促進にあたり、市民への利用促進だけでは、この問題を大きく打破することは困難であることから、その利用促進案を以下の通り提言したい。</p>		

	<p>1 . J リーグ (J 2、JFL 含む) のほぼ大多数のクラブチームは赤字経営を余儀なくされており、シーズン前のキャンプ運営もその場所、コストが重要な課題となっている。そこでキャンプ候補地として自然と食文化が豊かでキャンプに集中できる環境を併せ持つ「萩ウエルネスパーク」の利用を提案したい。クラブの財政事情により低料金での利用が条件となる可能性もあるが、萩市民との交流を含め地域活性化に結びつけたい。</p> <p>2 . 大学生の体育会活動、サークル活動の場として「萩ウエルネスパーク」を全面開放したい。現在では冠となる大会がない限り、維持管理費の問題からスタジアムは一般開放されることはないとのことだが、むしろ利用促進の為に一般開放すべき。これは萩市の公式ホームページを通じて、広く一般に募集を呼びかけるべきである。(旧郡部の施設も同様) 尚、大学生を対象の一つとする理由は、彼らが社会人よりも十分な自由時間を有する為である。</p> <p>3 . スポーツ以外の利用促進案として、音楽フェスティバル、特に若年層の圧倒的な支持を受ける野外ロックフェスティバルの利用も考えたい。</p> <p>いずれにも共通するメリットは市外から人を誘致でき、そこには必ず飲食需要と宿泊需要が生まれるという点である。観光産業にも相乗効果が高く、ウエルネスパークの利用促進という一面のみならず、地域経済の活性化という視点からも取り組んでいきたい。</p>

質問順位	4	質問者	佐々木 武夫 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 4種類のワクチン接種の全額助成を	1. 子宮頸がん、ヒブ(Hib = インフルエンザ菌b型)、小児用、高齢者用肺炎球菌ワクチンを全額助成している市もあり萩市も市民の命を守り、医療費負担を少なくするためにも早期実現を		
2. 萩市民病院の患者対応について	1. 救急・緊急患者等の受け入れ対応について 2. 離島(見島)診療所との画像機械を使っでの治療対応措置の完備を		
3. 災害対策、緊急連絡通報について	1. 市民への通報機器設置完備、連絡体制の確立について		
4. 萩市に竹を利用した産業の振興を	1. 萩市に竹を利用した産業振興、援助支援を (1) 特に第一次産業の農業の発展寄与や、ごみ処理、エコ化に結びつく機会導入を		
5. スマートグリッドを利用した日本一のエコタウンを目指した取り組みを	1. 国において創設された「緑の分権改革」推進事業を活用して、また公的施設などを利用した太陽光エネルギーを活用し、財政基盤を創り雇用や産業を興してゆく時、市民・行政一体となって協力体制を作る時		

質問順位	5	質問者	木村靖枝議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 総務行政 安心安全な市民生活 のために	1. 義務付けられた住宅用火災警報器の設置について (1) 高齢者・障害者世帯への助成と期限までの設置の啓 発にどう取り組まれるのですか 2. Hib ワクチン(インフルエンザ菌 b 型)の定期接種の提 言について (1) その後の対応は		
2. 教育行政	1. 学校施設及び公共施設の耐震化に向けて早急の取り組み が必要と思われませんがその対応は		
3. 道路行政	1. 萩市の主要道路の整備状況と早期整備に向けての今後の 取り組みについて		
4. 環境行政	1. 少子高齢化の萩市の現状の中で河川・海岸一斉清掃(市民 一斉清掃)の今後のあり方は		

質問順位	6	質問者	長岡肇太郎 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 離島における生活支援	1. 子育て支援について 2. 税の特別措置について 3. 離島振興法の誘導について		
2. 消防行政	1. 離島における消防力強化 (1) 離島消防力強化5ヶ年計画の進捗状況		

質問順位	7	質問者	斉藤真治 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 安心・安全対策について	1. 雨水等による洪水・浸水対策について (1) ハザードマップの検証と避難所のあり方 2. 道路の植樹帯の管理及び私有地の樹木の越境対策について (1) 安全な通行確保のあり方		
2. 選挙投票率の向上対策について	1. 遠のく投票所、投票弱者への対策について (1) 投票時間のあり方 (2) 投票所のあり方 (3) 選挙公報紙のあり方 (4) 選挙に係る経費のあり方		

質問順位	8	質問者	岡 通 夫 議 員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 農業政策について	1. 激しく変化する農業政策の対応について		
2. 高齢者活動にポイントを	1. 高齢者の経験と知恵を生かした地域づくり		
3. 学校施設の安全・安心と学校の規模について	1. 学校施設の耐震化対応の現状と学校の適正規模・配置の考えについて		

質問順位	9	質問者	大村 起夫 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1．地域主権というけれど	地域のことは地域で決めるような時代を、というが、地域で決められない課題が山積している。 そのことについて問う。		
2．救急医療の充実について	初期対応が一番の救急医療であるが、課題は何か。「地域医療再生基金」を活用したプロジェクトで課題は克服されるのか。		
3．公共施設のバリアフリー化について	国道262号バイパス土原交差点の改良工事が進捗している。バリアフリーの配慮はなされているか。市民館大ホール入り口のバリアフリー化はどうなっているか。		
4．渡辺蒿蔵旧宅跡をどう活用するか	八丁筋に位置し、橋本川をのぞむ渡辺蒿蔵旧宅跡の整備が進捗している。課題の長屋門改修の計画はあるか。また当該旧宅跡をどう活用していくつもりか。		

質問順位	10	質問者	広兼義烈 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 萩市農業の現状に即応した振興施策について問う	<p>市長は、市の農業振興に強い意欲をもたれ施政方針の中で6項目にわたり施策の方向を示された。具体性に欠けるものもあるので、それらを軸に質問する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 県内最大級の食糧基地であると表現されているように農業産出額は県下で4位(17年統計)である。今後も、この位置は堅持するという方針はあるのか。 2. 市の農業の特徴は、米への依存度が高く40%を超えている。これをどのように受け止めているのか。 3. 農業振興といっても多岐にわたっており、どの分野に重点を置かれるのか。 農業従事者(労働力)、土地、資本、収益性(所得)作物、技術、流通、価格、集落維持支援等 4. 足腰の強い農業経営体の育成をするとある。農業従事者の確保という意味合いがあると思うが、個別経営(家族経営)、集落営農、法人等が考えられるが、具体的な目標数値を示していただきたい。 5. 戸別所得補償制度モデル事業が農家に及ぼす効果をどのように評価しているのか。 6. 特産作物の振興を図るための諸施策に取り組むとあるが どのような施策か。 米に依存し過ぎている。他作物の導入に積極的に取り組むべきと思う。 7. 農業生産基盤の整備については、ほ場整備ほか引き続き実施するということがだが、江崎地区のほ場整備に対する質問に採択までに4年程度、工事に4年程度かかるという説明があったが、こんなことで農業振興になるのか。なぜ、そんなに時間がかかるのか。農業者のやる気に応えるためにも、別の方法はないのか。 8. 農業所得の向上を目指すことが明記されている。農業が衰退する要因の主たるものは所得が向上しないからであり儲からないからである。行政としての施策を問う。 萩市の基幹的農業従事者1人当たり生産農業所得は、67万円程度と低い。(17年統計) 9. 耕作放棄地、不作付け地はどの程度あるのか。 		

	<p>10. 食育教育、食農教育に対する取り組みの現状を説明いただきたい。</p>
<p>2. 萩市国民健康保険高齢者保健福祉支援センター「やまびこ」の今後について問う</p>	<p>1. 平成23年度から民営化するということだが、なぜ民営化するのか。民営化しなくてはならない理由は何か。</p> <p>2. 平成8年度に当時の町長、診療センター所長が地域の将来にわたる福祉の充実を図るとして施設整備されたもので以後、医療施設と一体となって保健、医療、福祉サービスを包括的に行う拠点として役割を果たしてきた。</p> <p>地域住民は民営化されてやがて、施設がなくなるのではないかとの不安を抱いている。住民が納得する説明をいただきたい。</p> <p>3. 説明によると民営化するとサービスが向上するとのことだが、なぜ向上するのか。市営では、なぜ向上ができないのか。</p> <p>4. 臨時の職員が20人以上おられる。私たちはどうなるんだろうという不安をもっておられる。どう対処するのか。</p>

質問順位	11	質問者	平田啓一議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 農業後継者の確保について	1. ふるさと萩回帰応援事業の拡大について		
2. 下水道整備について	1. 椿北地区の公共下水道整備計画は 2. 椿北地区の大雨時の冠水対策について		
3. 教育行政、新学習指導要領の完全実施について	1. 平成21年度からの移行措置期間における現状について (1) 算数・数学及び理科の先行実施の状況について (2) 小学校(5・6年生)における外国語活動の状況について 2. 平成24年度からの中学校での完全実施に向けての準備は (1) 「武道」「ダンス」の取り組みの準備は 3. 新学習指導要領に期待するものは		

質問順位	1 2	質問者	宮内欣二議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1 . 国保料の負担軽減をどうするか		1 . 国保料の負担軽減をどのように図って行くか	
2 . やまびこ民営化後の対策をどうするか		1 . 「やまびこ」民営化による、地域への対応策をどう考えるか 2 . 弥富診療所との関係はどうか	
3 . 萩長門新清掃工場建設について		1 . 萩長門清掃一部事務組合がすすめる新清掃工場の基本設計業者が決定したが、設計業者を含めた談合の防止にどのような手立てをとるか	
4 . 携帯電話不感地帯の解消、デジタルテレビの難視聴対策		1 . 携帯電話の不感地帯の解消に向けてどう対応するか 2 . デジタルテレビの難視聴への対策はどうか	

質問順位	13	質問者	椋 晶 雄 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
1．低炭素（エコ）社会への市の取り組みについて	<p>CO₂削減は全国的な課題であり、経済活性化、雇用の増加にもつながるテーマである。</p> <p>県内に先がけて、萩市でエコへの取り組みを始める動きをして市民や各業界の前向きな活動を促すことが大切で、そのためにも行政の役割が大きい。</p> <p>早く活動を始めることにより国の支援も期待できる。</p> <p>中国電力や商社、通信回線を持つ企業などの協力も得られる。</p>		
2．防災の備えについて	<p>河川の管理が十分でなく、雑木、雑草、竹などが河川敷に生い茂り、大雨などで水量が急激に増加した場合、橋桁などにそれらの木や枝・草などが引っかかり、橋の倒壊や川水の氾濫などが懸念される。</p> <p>また、周辺の集落の狭隘な市道などは退避スペースの整備を進め、車のスムーズな動きを確保すべきと考える。</p>		

質問順位	14	質問者	西中忍議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 市職員の懲戒処分について	1. 処分決定の経緯及び組織（意思決定機関）のあり方について		
2. 阿武川の水害防止対策について	<p>1. 阿武川（特に中津江水門の下流）には、たくさんの中洲が点在しています。そこには、木が自生し森のようになっています。地域住民から、阿武川増水時この茂みに流木が引っかかり流れをせき止め氾濫するのではという不安の声をよく聞きます。</p> <p>反面、ここは野鳥のすみ処となっていて、のどかな風景をつくりだしています。</p> <p>そこで、こののどかな風景を残しながら住民の不安をなくすよう山口県に対し浚渫工事等行うよう要望をするお考えがないかお尋ねします。</p> <p>また、中洲があっても阿武川が氾濫せず安全であるのであれば、その根拠をお示しく下さい。</p>		
3. 平成23年度予算について	1. 萩市として、少子化・人口減少問題に対し、真剣に取り組むという姿勢を示すためにも思い切った予算編成を行うお考えがないかお尋ねします。		

質問順位	15	質問者	横山秀二議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 森林・林業再生プランについて	1. 荒れた人工林の対策は (1) 人工林管理放棄問題 2. 林業再生への対策は 3. 路網の拡大について 4. 今後の市の対応について		
2. 国道262号線の誘導看板について	国道262号と県道萩秋芳線の交点看板になぜ、両方に「萩」及び「山口・小郡」方面が消えたのか		

質問順位	16	質問者	西元 勇 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 福祉行政について	<p>1. 「敬老の日」を前にして高齢者の所在不明が大きな問題となっている。萩市の現状と所在調査等の実情を問う。</p> <p>2. 健康と福祉の里づくりの推進を通じた地域活性化を問う。</p>		